

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	ストレインレートをを用いた大動脈弁逆流の新たな重症度評価法の試み		
② 実施予定期間	2023年12月25日～2026年12月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で心エコー図検査を受けた大動脈弁逆流を有する患者さん		
④ 対象期間	2018年3月1日から2023年10月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	全診療科		
⑦ 研究責任者	氏名	小室あゆみ	所属 山口大学医学部附属病院 第二内科
⑧ 使用する情報等	<p>1)患者背景：年齢、性別、身長、体重、Body Surface Area (BSA)、Body Mass Index (BMI)、併存症（高血圧症、糖尿病、脂質異常症、慢性腎不全）、治療歴</p> <p>2)検査項目：検査日、血圧、心拍数、左室拡張末期径、左室収縮末期径、左室駆出率、左室流入速度波形、僧帽弁輪運動速度波形、左室心筋重量、左房容積、Global longitudinal strain、その他心エコー図検査報告書に記載のある検査結果、ストレインレート</p>		
⑨ 研究の概要	<p>大動脈弁逆流（AR）とは、大動脈弁の接合不全により大動脈から左心室に血流逆流が生じる病態です。ARが慢性化すると、心拡大や心機能低下をきたしていきます。ARの重症度を評価することは重要ですが、その評価法は煩雑で、測定者間による誤差が認められる場合があります。そこで、ARの重症度を判定する指標として「ストレインレート」というエコー指標を用います。ストレインレートは心臓の筋肉が伸び縮みするときの速さを表し、簡単に計測することができます。ARが重症になるほど、血液逆流により拡張期に左心室は広がり続けるため、ストレインレートは高くなると考えています。⑧で記載した項目とストレインレートがARの重症度別にどのような差があるのかを検討し、ストレインレートを使って重症度が判別できること方法を確立したいと考えています。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2025年 1月 29日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		

⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	第二内科の奨学寄附金		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 第二内科 小室あゆみ		
	電話	0836-22-2248	FAX